

スタートアップチャレンジ交付金 交付決定したスタートアップの取り組みを紹介します！

豊橋市を活動拠点として急成長を目指す起業初期のスタートアップを積極的に支援するため、本市では、スタートアップチャレンジ交付金を交付しています。

これまでの採択者の中には、市外から本市への拠点設置に加え、さらなる拠点の拡大や研究施設の開設、市内事業者との共創、資金調達に成功するなど、事業拡大につながっている事業者が多くみられます。

令和8年1月を締切に募集を行ったところ、市内外のスタートアップ10社から応募があり、審査の結果、5社を交付先として決定しました。

今後の事業成長を支援してまいります。

<交付先スタートアップ(五十音順)>

企業名(代表者氏名)	所在地	事業概要	交付額
GIVELOVE 株式会社 代表取締役 北川 愛子	名古屋市	規格外農産物を活用し、福祉施設と連携して新たな食品ブランドを立ち上げる取組	150万円
株式会社クロスメディスン 代表取締役 中井 洸我	徳島県 徳島市	赤ちゃんの泣き声から泣く理由を分析し、産後うつ予防につなげるAIの実証	150万円
株式会社 PictorLab 代表取締役 岡田 拓真	東京都 墨田区	香りセンサーと独自のAIを利用して、贈答用果実の品質評価システムの実証	150万円
PLANT CASE 株式会社 代表取締役 稲葉 一恵	豊橋市	光合成データに基づく環境制御により、CO2活用の収益性を最大化する次世代施設園芸モデルの事業化	150万円
Floatmeal 株式会社 代表取締役 北村 もあな	北海道 札幌市	高タンパク植物「ウキクサ」の量産拠点整備と、地域の食品産業と連携した新たなビジネスモデルの構築	150万円
計			750万円

【参考】スタートアップチャレンジ交付金について

1. 目的

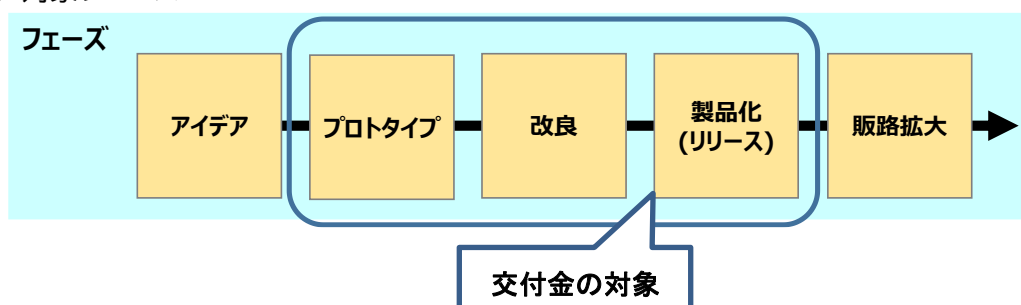
本市で事業創出を目指すスタートアップに対し、事業創出に必要な経費の一部を交付し、本市でのスタートアップ創出の促進を図る。

2. 交付金の概要

- (1) 予算額:1,000 万円
- (2) 交付対象者要件:市内に本社又は主たる事業所を置いていること
※現在は市外でも、交付決定から1年以内に置く場合も含む。
- (3) 交付額:交付対象経費の2分の1の額(対象者要件ごとに以下の上限を設定)

対象事業者 分類	上限金額
ベンチャーキャピタルや投資家等から出資を受けた者	出資額、又は 250 万円のうち低い方
ビジネスプランコンテスト等で賞金を獲得した者	獲得した賞金の額 又は 150 万円のうち低い方
ベンチャーキャピタル等から伴走支援を受けている者	150 万円
事業化にあたってプロトタイプを有している者	150 万円

(4) 対象フェーズ



(5) 交付実績

- 令和6年度 件数:5者 金額計:850万円
令和5年度 件数:4者 金額計:800万円
令和4年度 件数:5者 金額計:800万円

本交付金の詳細については、
右記二次元コードを読み取り、ホームページにてご確認ください。



問合先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野 (電話 0532-51-3155)